

学力調査等の状況	
本校の児童の特徴と必要な手立て ・物語文(登場人物の気持ち・場面情景等)や説明文(作者の考え・段落構成等)の読み取りが弱い。 ・実物に触れることや実体験を取り入れるなど、実際に見聞きたり経験したりすることを大事にしておくことで豊かな量感を身に付けさせ、知識に結びつける。また、学習したことを確実に習得するために、宿題やプリント、chromebookを使ったナビマなどで繰り返し復習を行う。東京ベーシックドリルを行い児童の理解やつまづきを把握し、指導につなげる。	

見えてきた課題	
・読む力を育てるための学習指導の充実。 ・豊かな体験や経験の充実。 ・問題解決型の学習の充実。 ・学習内容の基礎基本の定着を図る。	

授業をデザインする8つの取組について	
見通しをもたせる導入	毎時間の学習で一時間の見通しをもたせ、学習への意欲を高めるとともに、安心して学習に取り組めるようにする。
ICT機器の活用	積極的にchromebookを活用して教材提示や意見の共有を行うことで、学習の理解を広げたり深めたりできるようにする。
振り返りの設定	毎時間の学習で振り返りの時間を設け、何を身に付け、何ができるようになったかを明確にするための積み重ねを通して定着させる。

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
国語科	#REF!	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴール(音読発表会、学習ブック作り等)を最初に示し、目的意識をもって学ばせる。 ○ICTで教科書を拡大したり、ノートを拡大したりと視覚表示することで、わかりやすい授業を心がける。ことばあそび等、クイズブックを活用し、互いの学びを共有させていく。 ○毎時間の学習で振り返りの時間を設け、自分の学びを確認する習慣をつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町タイムや家庭学習を利用して、漢字定着を図る。小テストでは、復習をする。 ○物語文を読むときは、身に付けさせたい用語や文法を焦点化することで深く読む活動を行う。 ○学習感想や登場人物へお手紙を送る活動を通して、友達と交流したり、発表したりする活動を取り入れる。 ○日常的に書く機会を増やして五感を表現できるような指導の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホワイトボードなどを活用して、一時間の見通しを示すことでめあてや授業の目的を明確にし、感心や意欲を引き出す。 ○Chromebookを活用し、意見などを集めることで交流の場をつくる。 ○映像や写真などを提示して説明することで、視覚的に分かりやすく指導していく。 ○毎時間の学習での振り返りにより、学んだことの整理と次学習することの見直しや、意欲を高めていく。
社会科	#REF!	(中学年からのスタートに向けて現時点で意識する指導の重点) <ul style="list-style-type: none"> ○生活科の各単元の目当てや1時間ごとの目当てや流れを明示し、ゴールを意識し、見直しをもって学ばせ、時間ごとや単元ごとに振り返りを行う。 ○生活科の「学校探検」「町探検」を通して、ICTも活用しながら下級生に説明する力や友達に報告する力を身に付ける。 ○町探検のインタビュー活動を通して主体的に学ぶ力を高め、地域について深く理解させる。 ○身の回りの地域に興味をもつような探検や活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや記号、地図などの資料の見方等をその都度確認し、一人で読み取れるようにする。 ○調べることや調べる場所を実際に見学し作業することを通して、体験的な活動から社会的事象に関連付けて考える力を育てる。(水・ゴミ・出前授業等) ○都道府県クイズを行い、グループで相談してみんなで考える活動を行う。 ○買い物調べなどを通して、分かったことから課題設定し、自ら考えようとする。 ○VCの調整により、農協の直売所や事務所の見学を実施し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決型の学習を基本に指導を行っていく。 ○導入で本時の課題に対する見直しをもたせる。また、単元の初めに単元を貫く学習問題を設定して、ゴールを明確にする。 ○ICTを活用した意見交換や資料の共有によって、学びを広げたり深めたりできるようにする。 ○複数の資料から情報を整理・比較・検討できるようにし、本時で学習したことを豊かに表現する活動を大切にいく。
算数科	#REF!	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着のために、クイズブックのナビマを活用し、理解度を図る。 ○思考力を身に付けさせるために、問題解決型の練習を繰り返し、習熟を図る。 ○表現力を身に付けさせるために、ノートに分かりやすく書けるようにする。近くの子と自分の考えについて意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クイズブックのナビマを活用し、基礎学力の定着を図る。 ○答えを出すときに見積もりをすることで量感を育てる。 ○東京ベーシックドリルを行い、自分の基礎基本の定着度を確かめ、見直しをして力をつける。計算力・応用力の向上につなげる。 ○学習の終わりに授業感想をまとめ表現力を身に付けていく。 ○具体物を利用して学習内容の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ナビマを活用し、基礎学力の定着を図る。 ○既習内容をもとに新たな問題の導き方を考え、ノートにまとめ、交流することで様々な視点から考える力を養う。 ○学習の終わりにスライドで単元の学習のまとめを行い、理解を深める。 ○毎日の学習の終わりに振り返りを行うことで、学んだことを整理し、学びを深め、表現力を高める。
理科	#REF!	(中学年からのスタートに向けて現時点で意識する指導の重点) <ul style="list-style-type: none"> ○生活科の各単元の目当てや1時間ごとの目当てや流れを明示し、ゴールを意識し、見直しをもって学ばせ、時間ごとや単元ごとに振り返りを行う。 ○生活科の「めざせ野菜作り名人」を通して観察を丁寧にする力を付ける。 ○身の回りの自然に興味をもてるよう自然と触れ合う内容を取り入れる。 ○「めざせ生き物はかせ」では、ICTも取り入れた調べ学習を通して学びを広げたり深めたりする。 ○おもちゃ作りを通して創意工夫する科学的な力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○黒板とノートの一体化を図り、問題解決の流れを明確にし、子どもたちが学習の見直しをもてるようにする。 ○事象提示を工夫し、共通点や差異点をもとに課題意識をもって主体的に実験観察を行うようにさせる。 ○自分の考えを表現し、お互いの意見を認め合う力を身に付けさせるために、個人や班ごとに予想や結果を発表する。 ○問題づくりや予想において自分の意見をもち発表したり、共有したりする時間をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決の流れを明確にし、子どもたちが学習の見直しをもてるようにする。 ○事象提示を工夫し、児童が解決したい問題を見つけ、主体的に取り組めるようにする。 ○子どもが考えた予想のイメージ図や実験計画をタブレットを活用して共有し、意見の交流をしやすくする。 ○タブレットを活用し、実験結果を写真・動画で撮影したり、数値を入力することでグラフ化したりすることで、子どもたちが結果から考察しやすくできるようにする。 ○実験結果や結論と、既習事項や生活とのつながりを見つけたら、授業における自己の学びを振り返ったり、学習の価値付けを行う。
各教科における課題を改善するための指導の重点				

⑬-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
生活科	#REF!	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に活動ができるよう、児童の興味関心を生かして課題を設定し、児童に単元のゴールを示す。 ○ICTを活用し、インタビューや情報収集、情報発信等ができるようにする。 ○次時に向けて、意欲をつなげたり活動の見通しをもたせたりするために、授業の終わりに振り返りの時間を設ける。 		
音楽科	#REF!	<ul style="list-style-type: none"> ○導入では、教科書だけではなく歌集の曲も多く取り入れ、音楽の楽しさを味わわせる。 ○ICTを活用し、リズム遊びや楽器の演奏の仕方をわかりやすく伝える。 ○ペアやグループでの身体表現、楽器演奏を取り入れ、表現力を学び合わせる。 ○毎時間の振り返りを行い、次への意欲とさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回リクエストの時間を設け、意欲的に取り組めるようにする。 ○協力して学び合えるようにするためにペアやグループでの活動を取り入れる。 ○音楽に主体的にかかわるようするために、ワークシートを活用して思いや意図を書いたり発表したりする機会を設ける。 ○授業の終わりに振り返りの時間を必ず設け、本時でできるようになったことや次への課題を見つけて、深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に取り組めるようにするために魅力的な選曲をする。 ○表現力を高め合えるようにするために、ペアやグループでの活動を取り入れる。 ○音楽に主体的にかかわるようするために、ワークシートを活用して思いや意図を書いたり発表したりする機会を設ける。 ○授業の終わりに振り返りの時間を必ず設け、本時でできるようになったことや次への課題を見つけて、深められるようにする。
図工科	#REF!	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に創作できるようにするために、材料の選定を行い、提示する。 ○協力して学び合えるようにするために、出来上がった作品をお互いに見合ったり、ICTを用いて紹介したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に創作できるようにするために材料の選定を行い、魅力的な導入を行う。 ○協力して学び合えるようにするために、準備片付け、造形あそび、共同制作を行う。 ○鑑賞、共同制作での話し合い活動を取り入れ、対話的な学びの場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に創作できるようにするために材料の選定を行う。 ○既習事項と題材を繋げ、より深い学びになるよう導入の工夫をする。 ○協力して学び合えるようにするために、準備片付け、造形あそび、共同制作を行う。 ○鑑賞、共同制作での話し合い活動を取り入れ、対話的な学びの場を設定する。
家庭科	#REF!			<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループ活動を活用し、協力して学び合う姿勢を身に付けさせたり、児童が手本となって教えたりする場を設定する。 ○コロナ禍では実習が難しいので家庭で取り組んだことを学習カードに記入し、友達のよいところや生活に必要な技術のコツを身に付ける。 ○学習カードを活用して自分の工夫や考えを書き、思考力を深めたり振り返ったりできるようにする。
体育科	#REF!	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴールを初めに示すとともに、本時の学習で行うことを最初に伝え、見通しと意欲をもたせる。 ○技や運動のポイントや、スクリーンやクロムブックを活用して視覚的に分かりやすく伝える。 ○授業の終わりに振り返りの時間を必ず設け、本時でできるようになったことや次への課題を見つけて、深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に対する見通しをもたせ、授業で生かせるような補助運動に取り組む。 ○自分の動きの課題を視覚化して明確に把握するために、クロムブックを活用してより良い運動ができるように生かしていく。 ○児童がより運動を楽しめたり友達同士でサポートしたりするために、学習カードを活用して、学習の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に対する見通しをもたせる。ために、毎時間、基礎感覚を養う補助運動に取り組む。 ○自分の動きの課題を明確に理解できるようにするために、クロムブックを活用する。 ○児童の困り感を個別に対応できるようにするために、学習カードや体育ノートを活用して、学習の振り返りを行う。
外国語科	#REF!			<ul style="list-style-type: none"> ○英語のコミュニケーション能力を高め定着させるために、英語専科とALTで連携をして英語に対する苦手意識を払拭し楽しく学べるように授業を組み立てる。 ○基本的な表現になれるため何度もペア活動などで繰り返し練習する。またリスニングにもなるため、何度も聞くことで英語特有の発音になれるようにしたい。

各教科における課題を改善するための指導の重点

	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
--	-------------	-----	-----	-----

⑬-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

総合的な学習の時間	#REF!	/	<p>○主体的に問題を解決する力をつけるために、児童の興味関心を生かして、課題を設定していく。</p> <p>○ゲストティーチャーを招いた授業を活用したりして地域の様々な人々との活動を取り入れ、表現する力を身につける。</p> <p>○自ら学び、自ら考える力をつけるために、授業場面における振り返り活動や自己評価活動を設定する。</p> <p>○クロムブックを活用して、必要な情報を探すことができるようにする。</p>	<p>○単元の学習の流れを明確にすることによって、子どもが見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p> <p>○グループでの調べ学習を取り入れることによって、話し合いや試行錯誤しながら、課題解決に向けて協力して取り組めるようにする。</p> <p>○クロムブックを活用して資料を見たり、情報収集したりすることによって、多面的に物事を捉えられるようにする。</p>
特別の教科 道徳	#REF!	<p>○本時で考えさせたい観点を、本質的に深く理解させるために、教材への導入、価値への導入を工夫して行う。また、授業への「構え」を作る。</p> <p>○大型テレビやスクリーンを使って、視覚的にも訴える魅力的な教材提示を行う。</p> <p>○振り返りの時間を必ず設け、価値項目に照らし合わせて自分自身を見つめさせる。</p>	<p>○学校行事と関連させた年間指導計画のもとに、児童の実態に合った指導を行う。</p> <p>○板書資料やBGMを活用し、学習する価値への理解を深める教材提示を行う。</p> <p>○物事を多面的・多角的に捉え、考えを深めるための十分な話し合いの時間確保と発問の工夫を行う。</p> <p>○振り返りの時間を十分に確保し、学習した価値についてを振り返る。</p>	<p>○学校行事と関連させて年間指導計画のもとに、児童の実態を捉えた指導を行う。</p> <p>○ICTやBGMを活用し、理解を深める教材提示を行う。</p> <p>○物事を多面的・多角的に捉え、考えを深めるための十分な話し合いの時間確保と発問の工夫を行う。</p> <p>○振り返りの時間を十分に確保し、価値項目に照らし合わせて自己の変容に気付いたり、学びを振り返ったりする。</p>
特別活動	#REF!	<p>○学級会を中心とした学級活動「みんなで決めて、みんなで遊ぶ」経験を通して、自分たちで決めることが充実感につながることを理解させる。</p> <p>○コロナ禍のため限定的な関わりに留まっている部分もあるが、状況に応じて上学年に対する感謝や憧れの気持ちをもてるように指導をする。</p> <p>○学期や行事ごとにめあてを立て、振り返りをさせる。</p>	<p>○学級会を中心とした学級活動(1)を計画的に実施する。全員が納得することを目指して物事を決め、実践する経験を通して、集団活動の楽しさや充実感を味わわせる。</p> <p>○コロナ禍のため限定的な関わりに留まっている部分もあるが、上学年には憧れの気持ちを、下学年には思いやりの気持ちをもてるように指導をする。</p> <p>○学期や行事ごとにめあてを立て、振り返りをさせ、自分の成長を実感させる。</p>	<p>○学級会を中心とした学級活動(1)を計画的に実施する。全員が納得することを目指して物事を決め、実践する経験を通して、集団活動の充実や、創意工夫をする楽しさを実感させる。</p> <p>○コロナ禍のため限定的な関わりに留まっている部分もあるが、下学年には思いやりの気持ちもち、学校全体を引っ張っていく覚悟をもたせる。</p> <p>○学期や行事ごとにめあてを立て、振り返りをさせる、自分や集団の成長を実感させる。</p>
外国語活動	#REF!	<p>○歌や簡単な動き、ジェスチャーやリズムゲームを多く取り入れ、楽しみながら英語を習得させる。</p> <p>○外国語を口ずさんだりコミュニケーションをとって楽しんだりすることで外国語に親しむ。</p> <p>○ICT機器を活用したり、具体物を作ったりすることで楽しんで外国語を活用させる。</p>	<p>○外国語を口ずさんだりコミュニケーションをとって楽しんだりすることで外国語に親しむ。</p> <p>○ワークシートやICT機器を活用して学習の見通しをもたせ、評価しあったり、発表したりする。</p> <p>○アクティビティーやインタビューを通して、センテンスを繰り返し活用することで英語を習得させる。</p> <p>○歌や簡単な動き、ジェスチャーやリズムゲームを多く取り入れ、楽しみながら英語を習得させる。</p>	/